

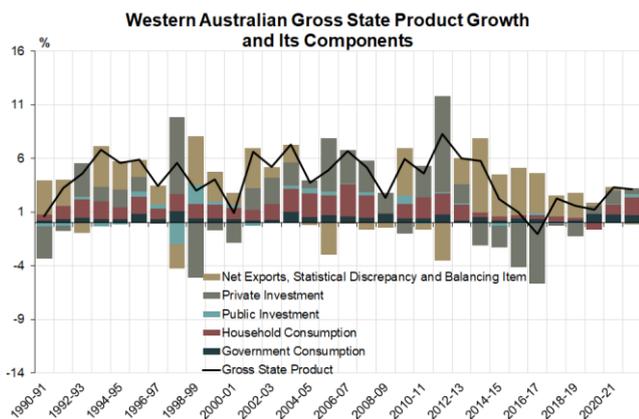
西オーストラリア州今月のデータハイライト

- 西オーストラリア州の **GSP(州総生産)**は 2021-22 年 3.1%増加した。
- **州の小売業**は 10 月変化がなかったが、年間を通じて 7.7%成長となった。
- **州の住宅許可**は 10 月、5.7%成長となった。
- CoreLogic によると、パースの住宅価格は 11 月、横ばいであったが、年間を通じて 3.9%成長となった。

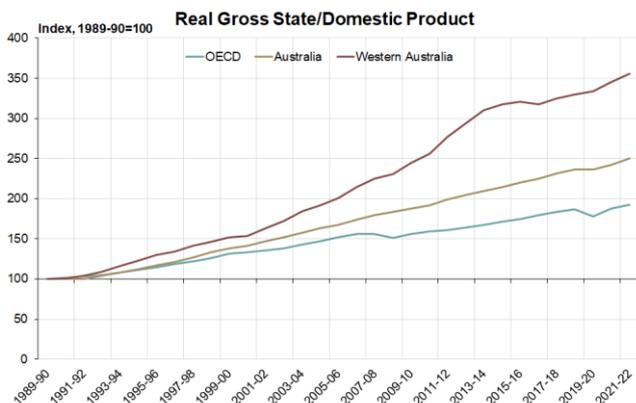
2021-22 年 西オーストラリア州 GSP(総生産)

- 西オーストラリア州 **GSP** は 前会計年度の 3.3%成長に続いて 2021-22 年、3.1%増加した。
- 家計消費が 5.5%成長となり、2021-22 年の **GSP** 成長の半分超となる貢献となった。2021 年 6 月の会場での制限解除および 2022 年 3 月の州境の再オープンにより、衣類や靴(+16.3%)、輸送(+13.0%)およびホテル、カフェ、レストラン (+12.1%)が最も好調な増加を記録した。前会計年度に持ち直した飲食は、実質的に 1.4%減少となった。
- 主に機械設備への事業支出の 10.4%急増により、民間投資 (+3.9%)が 2021-22 年 **GSP** 成長の約 20% に貢献した。機械設備への支出は、5 会計年度連続の増加となった。業界が人員等リソースの制約に取り組み、住宅投資は 2.7%成長し、建設活動が減少した数年間の後、現在は民間セクターの住宅が記録的な数で建設中となった。
- 主にコロナ関連の支出増加とインフラ投資の持ち直しにより政府消費(+5.6%)および 公共投資(+11.7%)もまた、**GSP** 成長に大幅な貢献となった。
- 州経済の確かな実績が純輸出のマイナスを部分的に相殺した。2021-22 年、商品およびサービスクレジットはそれぞれ 2.7%、4.4%とともにわずかに減少した。商品の輸入もまた 2.1%と、わずかに減少したが、2022 年 3 月の渡航制限緩和のさなか、サービス負債は 21.0%回復した。
- 西オーストラリア州は過去 30 年間、マクロ経済業績において、オーストラリア国内他州および OECD の国々のを上回り続けており、**GSP** は 1989-90 年の 3 倍以上を記録している。

西オーストラリア州 GSP 成長およびその構成



実質 GSP および GDP



オーストラリア金利(%)			FX and Equities	
RBA 政策金利目標	2.85	(↑25 pt)	AUD/USD	0.6786 (↑389 pt)
90 日銀行手形	3.05	(↓9 pt)	AUD/JPY	93.73 (↓1.4 pt)
連邦政府 3 年国債	3.17	(↓13 pt)		
連邦政府 10 年国債	3.54	(↓22 pt)	ASX200	7284 (↑421 pt)

*数値は月末時点。()内は、先月との比較。

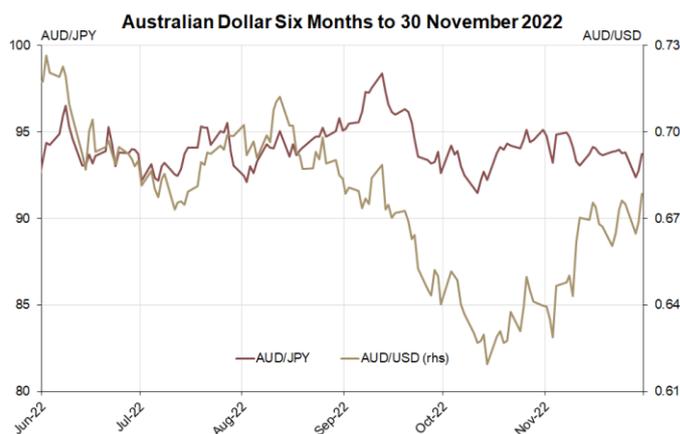
市場状況

- オーストラリア債権利回りは、特に長期債において 11 月再び下落した。イールドカーブ(利回り曲線)の終盤での下落は、世界的なインフレへの懸念が和らぐなか、来年の世界経済の減速予想が相まって、世界市場の利回りの下落が一因となった。利回り下落は、10 月および 11 月の引き締めペースの鈍化による RBA 金利予測低下および 10 月の CPI 指標の年間上昇率への下振れによる。
- 豪ドルは 11 月、世界市場のセンチメントが改善したこと、また米ドルの安を反映し、米ドルに対し 6.1%上昇した。しかし豪ドルは、日本の対外ポジションの見通しを改善することとなった最近の石油価格の下落により日本円が堅調に上昇したことを受け、対円で 1.5%下落した。
- オーストラリア株式市場は 10 月に 6.0% 増加した後、11 月には 6.1%急増し、半年振りの最高水準に到達した。11 月の増加は世界的な回復と鉄鉱石先物の上昇を反映しており、これにより鉱業株価格を上昇させた。

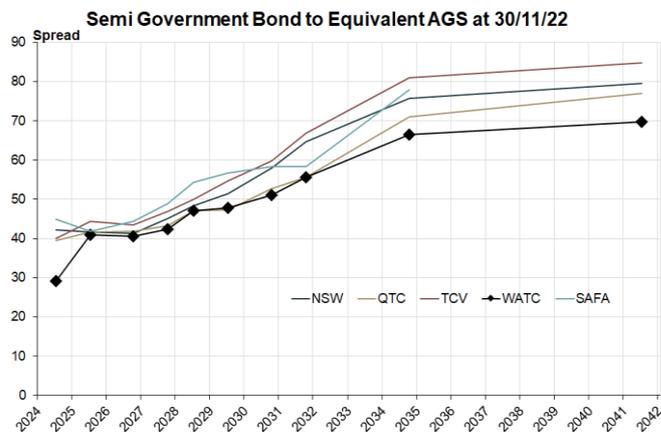
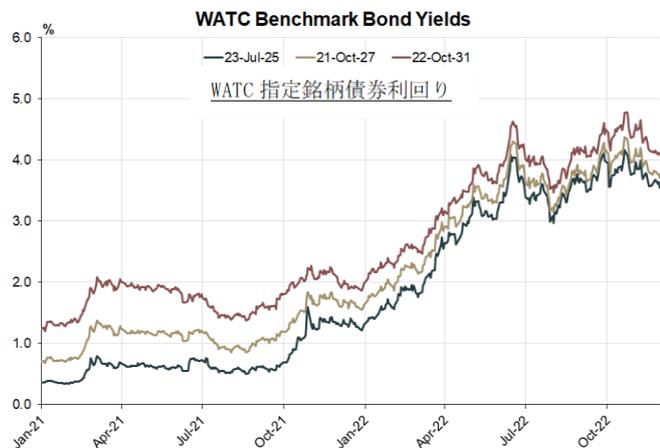
2022 年 11 月 30 日までの過去 6 ヶ月間の豪ドル推移

WATC 指定銘柄債券株利回り		
満期	利回り 30/11/2022	AGS スプレッド 30/11/2022
16 October 2023	3.36 (↓21 pt)	+29 pt (↓24 pt)
23 July 2024	3.50 (↓22 pt)	+29 pt (↓22 pt)
23 July 2025	3.55 (↓23 pt)	+41 pt (↓12 pt)
21 October 2026	3.62 (↓25 pt)	+41 pt (↓11 pt)
21 October 2027	3.72 (↓27 pt)	+42 pt (↓11 pt)
20 July 2028	3.81 (↓26 pt)	+47 pt (↓10 pt)
24 July 2029	3.90 (↓27 pt)	+48 pt (↓10 pt)
22 October 2030	4.02 (↓29 pt)	+51 pt (↓11 pt)
22 October 2031	4.11 (↓28 pt)	+56 pt (↓10 pt)
24 October 2034	4.37 (↓31 pt)	+67 pt (↓9 pt)
23 July 2041	4.72 (↓19 pt)	+70 pt (↓9 pt)

*Spreads are to nearest Commonwealth Bond.



AGS に相当する準政府債 (2022 年 11 月 30 日現在)



ここに記載された全ての見解・判断・結論・予想・予測または評価は、弊社が信頼に足るものと判断した情報から構成されております。しかしながら、弊社は、情報の正確性を保証するものではありません。したがって、弊社としましては、誠意をもってこれらの提案をいたしておりますが、全ての決定権は貴方にあり、慎重にご検討されるようお願い致します。また、これらの提案は、特定の事項に関する専門的助言に代わるものではありません。これらの提案を受諾または拒絶する際には、事前に具体的な要望や状況に関し、必ず弊社にご相談ください。